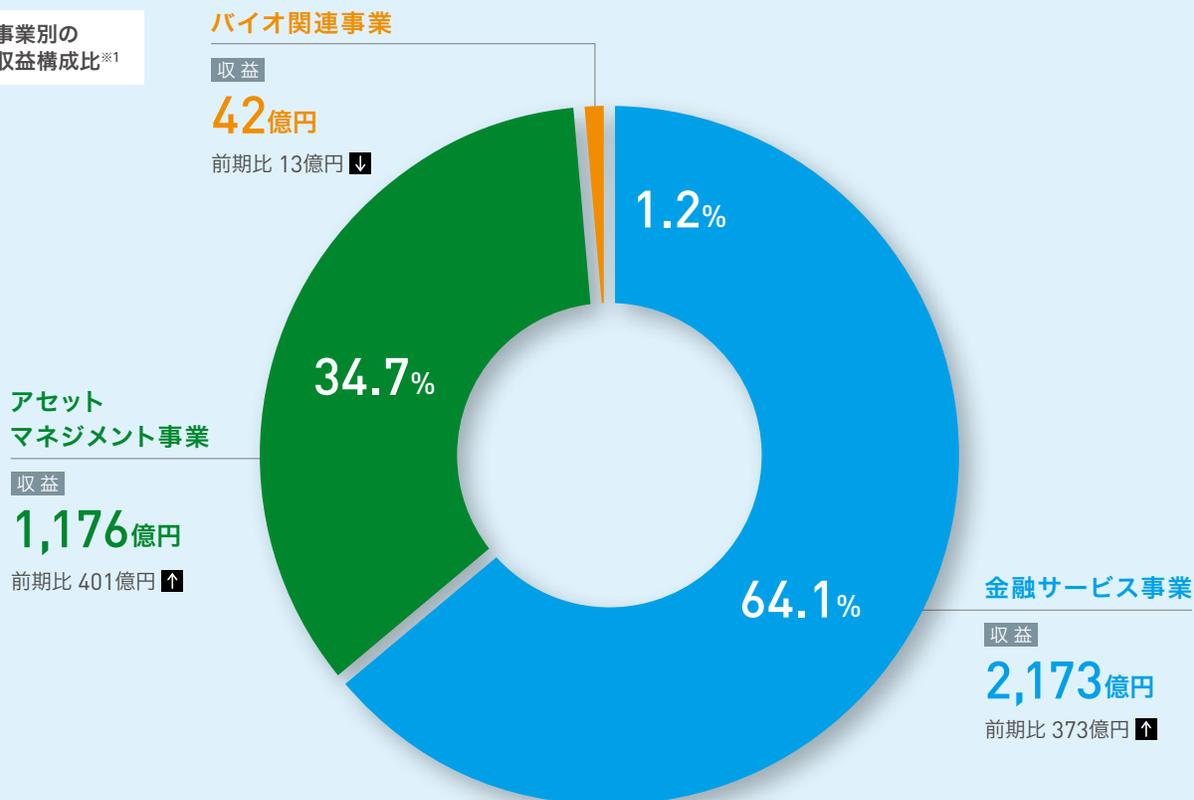


At a Glance

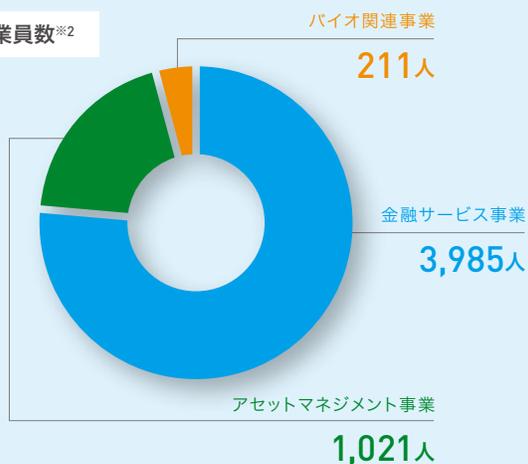
SBIグループの事業概況(2018年3月期)

SBI GROUP AT A GLANCE

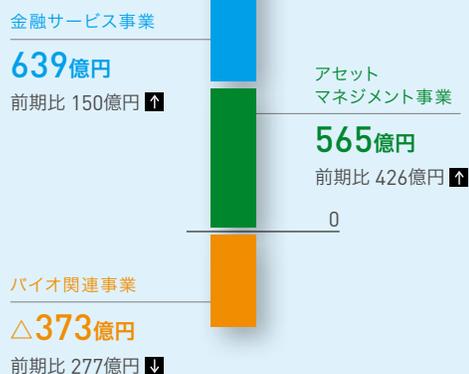
事業別の
収益構成比※1



従業員数※2



税引前利益



※1 セグメント別の収益構成比率は、金融サービス事業、アセットマネジメント事業、バイオ関連事業の収益合計に対する構成比率を記載しています。

※2 全社共通人員など174名を除いています。



FINANCIAL SERVICES BUSINESS

金融サービス事業

≫ P.26

インターネットを通じた革新的で利便性の高い
金融商品やサービスを提供

【主な事業】

- 証券関連事業
- 銀行関連事業
- 保険関連事業

【業績ハイライト】

株式市況が好調であったことなどが寄与し、SBI証券が過去最高の業績を達成。また、商品・サービスの多様化や販売チャネルの拡大、FinTechの導入による業務の効率化・高度化等により、証券以外の銀行・保険関連事業もセグメント全体の業績に貢献しました。



ASSET MANAGEMENT BUSINESS

アセットマネジメント事業

≫ P.28

国内外のITやバイオテクノロジー分野等の
ベンチャー企業へ投資、また資産運用サービス等を提供

【主な事業】

- ベンチャーキャピタル事業
- 資産運用サービス事業
- 海外における金融サービス事業

【業績ハイライト】

韓国のSBI貯蓄銀行が増益基調を継続したことに加え、IFRSに基づく保有銘柄の各期末における公正価値の変動もFinTech分野の投資先を中心に業績に好影響を与え、当期のアセットマネジメント事業の収益と税引前利益はIFRS適用後における過去最高をそれぞれ達成しました。



BIOTECHNOLOGY-RELATED BUSINESS

バイオ関連事業

≫ P.30

様々なパートナーと連携して
医薬品・健康食品・化粧品の研究開発・製造・販売を展開

【主な事業】

- 最先端のバイオテクノロジーを駆使した新たな医療、医薬品の研究開発
- ALAを用いた医薬品・健康食品・化粧品の研究開発

【業績ハイライト】

ALA関連事業は創業以来初の通期黒字化を達成しました。しかし、クォーク社における事業計画の見直し、持分法適用会社である窪田製薬ホールディングスが発表した創業バイプラインの臨床試験の結果等に応じて減損処理を実施し、バイオ関連事業の税引前損失は前期比で拡大しました。